請求書処理: 税務局

設定ガイド

最終更新日: 2019 年 4 月 13 日

以下の SAP Concur ソリューションに適用されます。

- ☐ Expense
  - ☐ Professional/Premium edition
  - ☐ Standard edition
- ☐ Travel
  - ☐ Professional/Premium edition
  - ☐ Standard edition
- ☒ Invoice
  - ☒ Professional/Premium edition
  - ☐ Standard edition
- ☐ Authorization Request
  - ☐ Professional/Premium edition
  - ☐ Standard edition

目次

セクション 1: アクセス許可 1

必須ロール 1

セクション 2: 概要 1

セクション 3: 付加価値税の対応国 2

セクション 4: 付加価値税 2

付加価値税の追跡 3

付加価値税額のソース 4

特殊なケース 4

付加価値税の計算要件 5

セクション 5: 請求書処理ユーザーへの表示 5

コピーダウン 7

セクション 6: 処理者への表示 7

セクション 7: 構成の概要 8

税管理ツール 8

付加価値税に関するお客様の責任 8

付加価値税および必須基準を計算する 9

発効日および終了日を理解して使用する 9

会社の所在地を理解して使用する 10

付加価値税を経費タイプ グループに適用する 11

税務局の場所に基づく経費タイプの可用性 12

付加価値税を支払先グループに適用する 12

最終更新日: 2019 年 4 月 13 日

© 2004–2019 SAP Concur All rights reserved.

フォームとフィールド: 従業員がすべての税額を計上するようにする 12
税額処理の管理 13
読み込み処理のための付加価値税の設定と計算 13
付加価値税の計算はフォームに依存する..... 13
監査ルール..... 15
監査証跡 15
セクション 8: 税務局の設定 15
基本の処理..... 15
ステップ 1: フォームに付加価値税関連のフィールドを追加する..... 16
ステップ 2: 税管理者ロールを割り当てる 17
ステップ 3: 税務局にアクセスする..... 18
ステップ 4: 新しい税務局を追加する 19
ステップ 5: （オプション）新しい経費タイプ グループを税務局に追加する 24
ステップ 6: （オプション）新しい支払先グループを税務局に追加する 28
ステップ 7:（オプション）定義済の税コードを設定する 32
セクション 9: インポートと抽出.....33
セクション 10: 分析レポート.....34
セクション 11: 付録 A - 税額計算.....35
英国の例（付加価値税が単一レベルであるすべての国に適用） 36

改訂履歴

日付	注意事項 / コメント / 変更内容
2019 年 4 月 13 日	イメージを含む請求書処理の新しいユーザー エクスペリエンスの一部として、「支払請（payment request）」という用語を「請求書（invoice）」に変更しました。
2019 年 3 月 28 日	カナダは請求書処理の付加価値税でサポートされていないため、カナダに関する内容を削除しました。
2019 年 2 月 11 日	「Concur」という用語を「SAP Concur」に、さらに用語「支払請（payment request）」という用語を「請求書（invoice）」に変更しました（該当する場合）。 その他の変更はありません。
2019 年 1 月 29 日	著作権を更新しました。その他の変更はありません。表紙の日付は更新されていません。
2018 年 4 月 6 日	表紙のチェック ボックスを変更しました。そのほかの変更および表紙の日付の更新はありません。
2018 年 1 月 10 日	著作権を更新しました。その他の変更はありません。表紙の日付は更新されていません。
2017 年 10 月 10 日	イメージ、付加価値税の計算、および 1 つの付加価値税額フィールドをサポートする税務当局に関する情報を更新しました。
2017 年 6 月 23 日	付加価値税を計算に関して、付加価値税のフィールドと、新しい **[税の指定]** 設定を追加しました。
2016 年 12 月 14 日	著作権と表紙を更新しました。その他の内容の変更はありません。
2016 年 4 月 15 日	会社の所在地の設定の変更に関する情報が更新されました。
2016 年 2 月 19 日	初版発行

最終更新日: 2019 年 4 月 13 日

© 2004–2019 SAP Concur All rights reserved.

税務局

セクション 1:　アクセス許可

ユーザーがこの機能へのアクセス許可を持っているかどうかは場合によります。たとえば、特定のグループに対してのみアクセス許可がある、または読取専用で作成や編集はできないなど、限定的なアクセス許可を持っている場合があります。

管理者はこの機能を使用する必要がありますので、適切なアクセス許可がない場合は、社内の Concur 管理者に連絡してください。

さらに、このガイドに記載されている作業は SAP Concur にのみ許可されているものもあります。必要に応じて SAP Concur サポートにご依頼ください。

必須ロール

税務局を追加および管理するには、ユーザーに「税管理者」ロールが必要です。

セクション 2:　概要

税務局とは、付加価値税 (VAT) を徴収する政府機関のことです。ほとんどの税務管轄では、国が税務局になります。ただし、英国のほか、いくつかの国では税務局に国だけでなく特定の都道府県や州が含まれる場合があります。ほとんどのヨーロッパ諸国は付加価値税を徴収していますが、米国は徴収していません。

多くの場合、国固有の税務局の設定を作成します。各設定は、サービスの発信国または請求書に詳細が記載されている国に対する税金タイプと税率で一致します。

たとえば、米国を拠点とするお客様は、10% のパーセント ベースの計算方法で物品サービス税 (GST) の税率タイプを組み込んだオーストラリアの税務局を設定できます。そうすることで、請求書がオーストラリアから到着した際に、料金計算が処理され、この目的で [ヘッダー] また

最終更新日: 2019 年 4 月 13 日
© 2004–2019 SAP Concur All rights reserved.

は [行項目] フォームに追加された **[税率]**、**[金額]**、および **[税コード]** の各フィールドに値が表示されます。

多くの会社は国内の従業員が拠点としている場所の税務局、または利益の見込める税務局だけを定義します。その税務局で十分な付加価値税を支払えば、還付申請の費用よりも還付額の方が大きくなるということです。一般的に、会社の税務会計部門がその情報を収集します。

NOTE: 「税務局」機能を使用するには、最初に関連する付加価値税関連のフィールドを設定しておく必要があります。

📖 付加価値税関連のフィールドの設定についてのさらに詳しい情報は、「VAT in Concur Invoice Client Fact Sheet」をご覧ください。

セクション 3: 付加価値税の対応国

請求書処理で付加価値税に対応している主な国は、イギリス、日本、オーストラリアです。

請求書処理で、次に付加価値税に対応している国は、課税対象となる 1 つの税金タイプを持つ国です。ただし、これらの国々は、特定の世界法または国内法の下では完全に対応していない可能性があります。

NOTE: 請求書処理で付加価値税に対応していない国は、米国、カナダ、インド、およびその他の複合税国です。

セクション 4: 付加価値税

付加価値税 (VAT) とは、商品やサービスの製造、生産のあらゆる段階の事業に課せられる税であり、段階ごとに価格の上昇や価値に基づいて規定されます。衣類製造の場合、原料（たとえば綿など）には課税されません。ただし、綿が生地に変わると価値が上がります。そのため衣類製造業者に販売されるときは生地に課税されます。生地の価値は衣類に変わるとまた上がります。そのため顧客に販売されるときに再び課税されます。

© 2004–2019 SAP Concur All rights reserved.

付加価値税は各段階で徴収されますが、一般的に各段階で控除と相殺されます。そのため最終消費者が商品やサービスを購入する際に、最終的に付加価値税を負担することになります。

従業員の代わりに付加価値税を支払う会社は、支払った VAT の還付申請ができる場合があります。通常、付加価値税の一部または全部は、一般的な事務用品と同様にサービス関連の経費で回収することができます。

NOTE: 本書では「付加価値税 (VAT)」という用語を使用しますが、多くの国ではそれ以外の用語が使用されています。 たとえば、フランスでは Taxe sur la Valeur Ajoutée (TVA)、ドイツでは Mehrwertsteuer (MwST)、イタリアでは Imposta sul Valore Aggiunto (IVA) という用語が使用されています。

付加価値税の追跡

会社の所在地によっては付加価値税の追跡が必要になります。

- **国内:** 米国で事業を展開する会社にとって売上税の追跡と報告が不可欠であるのと同様に、付加価値税が課税される国で事業を展開する会社（たとえばドイツを本拠地とする会社）では、付加価値税の追跡は国内問題であり、日常業務で不可欠です。報告は義務です。こうした会社は付加価値税のデータを定期的に（多くの場合、毎月）政府に報告する必要があります。

  SAP Concur が提供する付加価値税のデータ（社内の財務システムに転送可能）を使用して、還付申請に必要な報告書を作成することができます。

- **海外:** 付加価値税が課税される国へ出張する従業員のいる会社では（たとえば、ヨーロッパへ出張する従業員がいる米国の会社）、付加価値税の支払いは必要ですが、還付申請をしないつもりであれば付加価値税の追跡は必要ありません。還付申請の対象となる金額は相当な額になる場合もありますが、還付申請処理が複雑なため、還付申請に法外な費用がかかる場合があります。また、その複雑さのために、専門の会社に依頼する傾向があります。申請費用に加え、これにもさらに費用がかかります。

© 2004–2019 SAP Concur All rights reserved.

SAP Concur が提供する付加価値税のデータ（社内の財務システムに転送可能）を使用することにより、還付申請をすべきかどうかを判断することができます。還付申請を行う場合、申請のプロセスに必要な詳細情報の収集を SAP Concur が支援します。

付加価値税額のソース

実際の付加価値税額は、いくつかのソースから算出されます。

- 経費金額と現在の税率（付加価値税の設定で定義）に基づいて、請求書処理で金額が計算されます。
- ユーザーまたは処理者が金額を手入力または編集します。

特殊なケース

場合によっては、請求書処理に取り込まれた情報と請求書でユーザーが利用できる情報に基づいて、明細化された行項目の正しい税額の計算が難しいことがあります。 情報を正確に入力するために、計算を正しく機能させるのに必要な方法でユーザーがデータ入力を行うのは、大きな負担がかかります。

ユーザーによる税額の編集

SAP Concur は、ユーザーによる編集を可能にするために付加価値税額の設定を許可しています。これにより、ユーザーは付加価値税額と請求書を比較し、必要に応じて修正することができます。

この方法が適切な例は、携帯電話の使用に対し、国内通話と国際通話の課税が異なる国です。国内通話の明細 1 件と国際通話の明細 1 件を入力するために、ユーザーにデータの合計額を計算させるのは合理的ではありません。このオプションを使用すれば、請求書に記載された金額に合わせて、算出された付加価値税額を簡単に編集できます。

📖 詳しい情報は、本ガイドのセクション「税務局の設定」をご参照ください。

© 2004–2019 SAP Concur All rights reserved.

監査証跡に記録された税額に対する読み込み処理の変更

読み込み処理中に入力された、読み込み処理 **[付加価値税額 1]**（ヘッダーまたは行項目）フィールドが税務局による変更によって自動更新されるたびに、システムは請求書の監査証跡に値を記録します。これにより、お客様は付加価値税の値の変更原因を把握することができます。

📖 詳しくは、設定ガイド「請求書処理: 取り込み処理（お客様による管理）」、およびユーザー ガイド「請求書処理: Capture Processing (Client-Managed)」をお読みください。

付加価値税の計算要件

付加価値税を適正に計算して還付申請するためにシステムで必要とされる情報は以下のとおりです。

- **税務局:** 展開先の国に固有の税務局の設定。
- **経費タイプ:** 付加価値税は一部の（すべてではありません）経費タイプに適用されます。
- **日付:** 経費が発生した日付。付加価値税の税率は頻繁に変わることはないものの、日付に依存します。
- **場所:** 経費が発生した都市または場所。請求書の発行元と従業員の居住国がシステムによって比較され、取引が国内か海外かを判断し、その情報によって該当する税務局と税率を決定します。
- **支払先:** 支払先グループが [税務局] に設定されている場合は、支払先情報が必要です。

システムは請求書からこの情報をすべて収集します。請求書には、すべての費用（総額の合計）を含めるか、基本金額から税金を解析して、関連する税務局を使用してそれぞれの付加価値税関連のフィールドに表示することができます。

セクション 5:　請求書処理ユーザーへの表示

管理者が付加価値税関連のフィールドをフォームに追加すると、これらのフィールドが [支払申請ヘッダー] フォーム、[支払申請の行項目の詳細] フォーム、および [支払先] フォームに表示

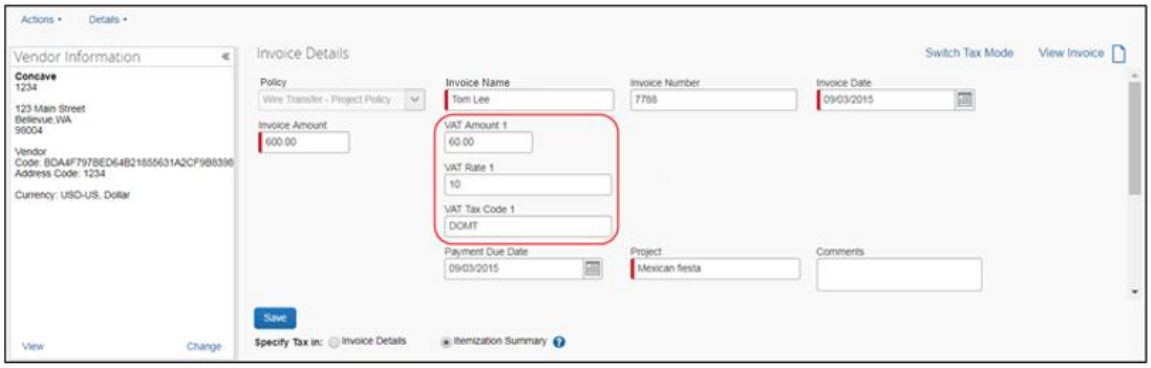
© 2004–2019 SAP Concur All rights reserved.

されます。付加価値税関連フィールドは、お客様が詳細な税情報を保管し、それらが関連する税法に準拠していることを確認する際に役立ちます。

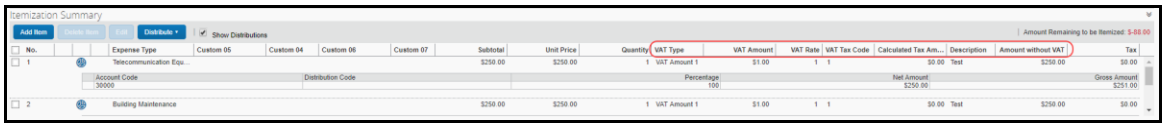
NOTE: 請求書処理は、税務局の **[付加価値税額 1]**、**[付加価値税率 1]**、および **[付加価値税コード 1]** フィールドのみをサポートします。

📖 フィールドの詳細については、この文書の「フォームとフィールド: 従業員がすべての税額を計上するようにする」セクションの表をご参照ください。

「請求書の詳細（ヘッダー）」セクションの付加価値税関連フィールドの例

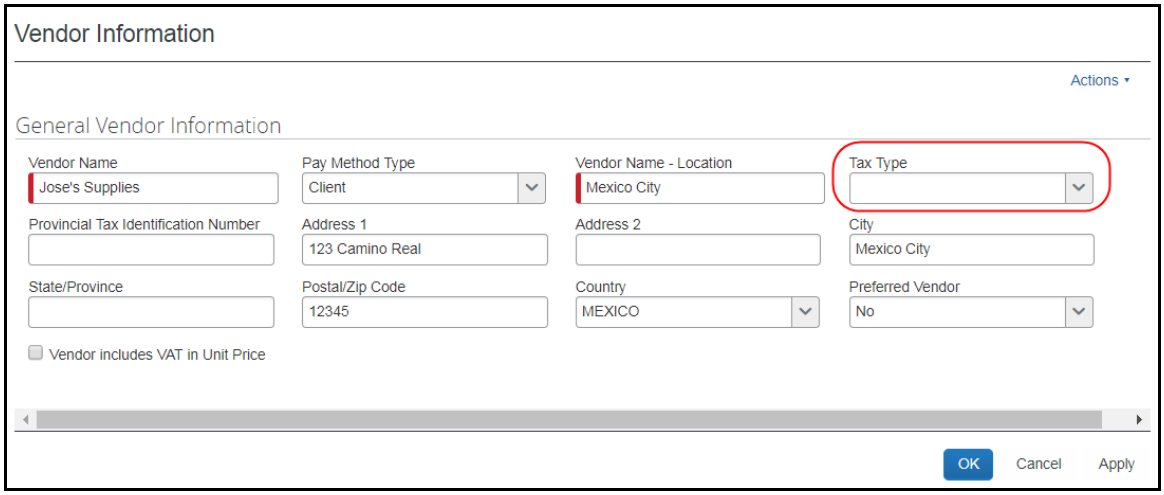


「明細（行項目）」セクションの付加価値税関連フィールドの例



© 2004–2019 SAP Concur All rights reserved.

「支払先の情報（支払先）」画面の付加価値税関連フィールドの例



📖 フォームとフィールドについての詳細情報は、設定ガイド「請求書処理: フォームとフィールド」をご参照ください。

コピーダウン

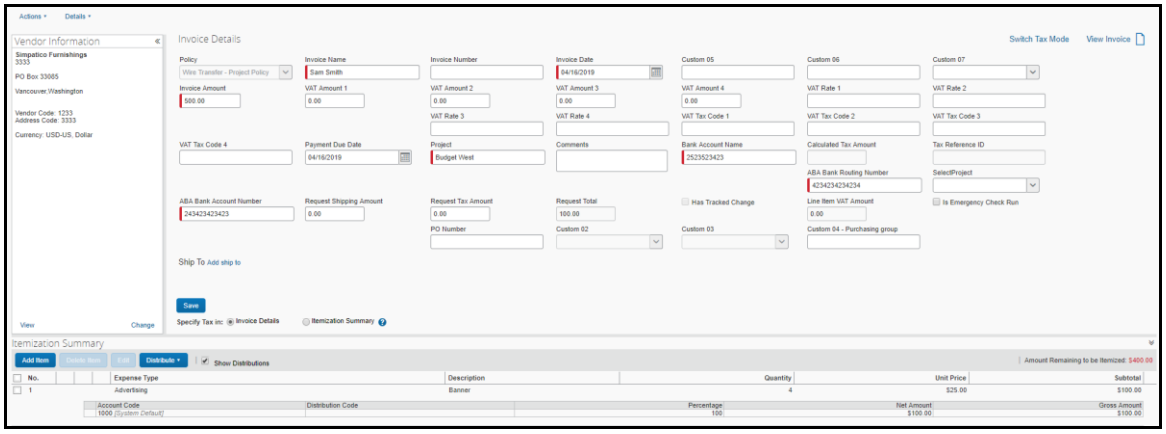
コピーダウンは、ほかのフィールドと同様に機能します。

セクション 6:　処理者への表示

事務管理部門の処理者は税の規定を遵守しているかどうか確認するために、すべての税情報を閲覧および編集できます。処理者は請求書を確認し、必要に応じて付加価値税額を編集できます。請求書処理の **[請求書の詳細]** タブに取引が発生した通貨での税額が表示されます。

NOTE: 国によっては、最大 4 つの付加価値税額フィールドがありますが、「税務局」機能は現在 1 つのフィールド（付加価値税額 1）のみサポートしています。

© 2004–2019 SAP Concur All rights reserved.



セクション 7:　構成の概要

税管理ツール

税管理ツールは、税率の種類（控除、標準、減額など）、および有効になる日付や割合など、各国の税務局を設定および管理するために使用します。

オプションで、同じ税属性を共有する経費タイプと支払先をグループ化して税務局に関連付けることで、各税務局の設定を簡単に展開できます。

付加価値税に関するお客様の責任

付加価値税の還付申請の用語や要件のほか、付加価値税に伴う複雑さと法的責任について理解することはお客様（会社）の責任となります。

SAP Concur からの支援をご希望される場合は、お客様の責任において、税務局や算出方法、付加価値税率など、指定の設定情報を期間中に SAP Concur にご提供いただく必要があります。SAP Concur は付加価値税についての一般的な助言をすることはできますが、お客様（会社）の付加価値税の報告要件や還付申請の戦略の定義についての責任は負いかねます。

また、会社に適用される付加価値税の要件の変更について常に情報を把握することもお客様（会社）の責任となります。

© 2004–2019 SAP Concur All rights reserved.

付加価値税および必須基準を計算する

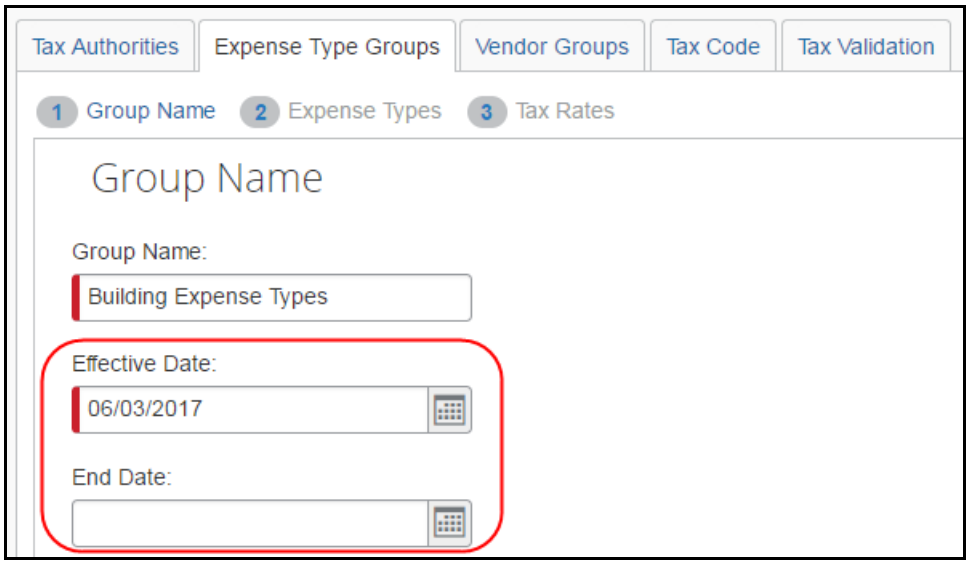
請求書処理が実行する計算は、3 つの基準に基づいています。

税務局 + 会社の所在地（発送先） + 経費タイプ（または支払先） = 計算

「税務局」コンポーネントには、国や税率タイプ、および商品やサービスに適用される実際の税率が組み込まれています。「会社の所在地」コンポーネントは、国内や海外の所在地、および計算のための追加の都道府県（州）や市区町村（地域）の基準を識別します。最後に、経費タイプまたは支払先は、会社が行う購入の種類ごとに処理する必要があると思われる商品またはサービスを定義します。

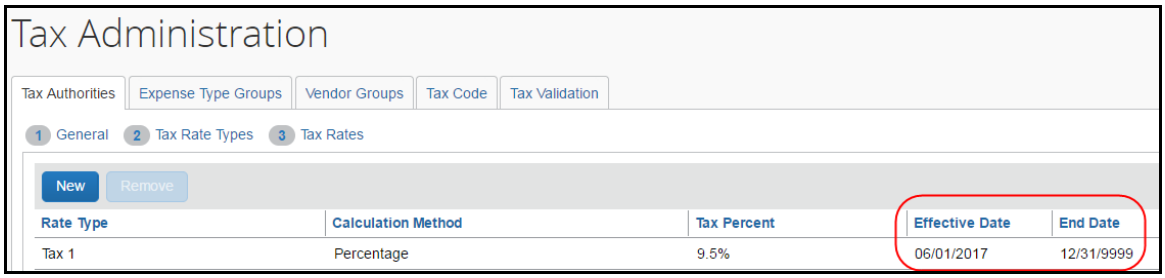
発効日および終了日を理解して使用する

経費タイプまたは支払先グループを登録するときは、設定時に発効日を入力する必要があります。必須の発行日は、システムによってグループが使用開始になる日であり、任意の終了日は、システムによってグループ構成が使用停止になる日です。



使用時、これらの日付はグループが有効である期間を定義します。終了日が指定されていない場合、12/31/9999 の日付が使われますが、管理者は税率の変更に基づいて終了日の決定を強制できます。

© 2004–2019 SAP Concur All rights reserved.



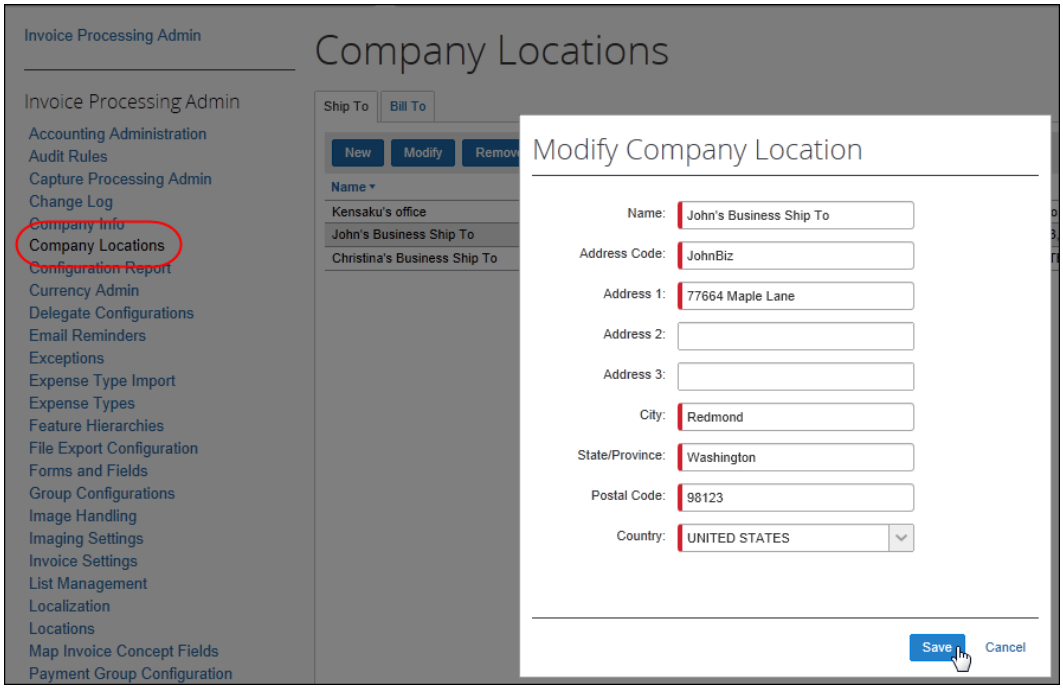
これは通常、新しい税率が有効になり、新しいグループと期限切れのグループの日付が一致し、2 つの間にカレンダー上のギャップがなくなるときに行われます。たとえば、1 月 1 日に施行される 10%～12% の新しい付加価値税率では、管理者が 12 月 31 日まで 10% でグループを作成し、その後新しい年の 1 月 1 日から 12% グループを使い始めるということです。

会社の所在地を理解して使用する

商品またはサービスを受けている会社の所在地によって、付加価値税がどのように適用されるかが決まります。出身国と目的国が異なる場合、請求書処理は国際税率に基づいて付加価値税を計算しますが、国内取引は異なる税率で計算することができます。さらに、特定の都道府県（州）や市区町村（地域）によっても計算が変わる可能性があります。

発送先の設定は、**[管理] > [請求書処理] > [会社の所在地]** をクリックしてアクセスできる **[会社の所在地]** ツールを使用します。

© 2004–2019 SAP Concur All rights reserved.



📖 詳細情報は、設定ガイド「請求書処理: 会社の所在地」をご参照ください。

付加価値税を経費タイプ グループに適用する

お客様は経費タイプごとに税率を適用できますが、すべての経費タイプがすべての税務局による付加価値税の計算対象となるわけではないことにご注意ください。付加価値税の対象となる経費タイプを定義する場合、税率が少なくとも 1 つあります。さらに、特定のロジックの条件によって、選択する税率が異なる可能性があります。

たとえば、オーストラリアでは標準税率は 10% です。ただし、商品およびサービスが付加価値税から控除される場合があります。この場合、お客様は 2 つの経費タイプ グループを作成できます。1 つは 10% 課税対象の商品とサービス向けで、もう 1 つは課税されないもの向けです。その後、これらの各グループに属す経費タイプをリストできます。

NOTE: 経費タイプ グループへの付加価値税の適用は任意です。これを実行すると、税務局の展開が簡単になりますが、税務局の実装は必須ではありません。

© 2004–2019 SAP Concur All rights reserved.

税務局の場所に基づく経費タイプの可用性

税の計算には、税務局、会社の所在地、および経費タイプの固有の組み合わせが使用されます。つまり、単一の税務局に対して複数の経費タイプ グループを作成する場合、1 つのグループに対して選択したグループは、作業している税務局内でのみ他のグループに対して論理的に利用できません。

📖 付加価値税を経費タイプ グループに適用する方法の詳細については、このガイドの「税務局の設定」セクションをご参照ください。

付加価値税を支払先グループに適用する

支払先グループは、経費タイプと同様に、一般的な税関連の属性を共有できます。お客様は、経費タイプと同じように支払先をグループ化できます。実際、一般的な経費タイプによって大部分が関連しているグループ支払先をグループ化することもできます。たとえば、これらの商品またはサービスを履行する支払先のオフィスまたは法務関連の経費タイプは、他の経費タイプに対してサービスが指定されることはありません。

NOTE: 支払先グループへの付加価値税の適用は任意です。これを実行すると、税務局の展開が簡単になりますが、税務局の実装は必須ではありません。

📖 支払先グループへの付加価値税の適用の詳細については、このガイドの「税務局の設定」セクションをご参照ください。

フォームとフィールド: 従業員がすべての税額を計上するようにする

管理者は [フォームとフィールド] ツールで、関連する付加価値税のフィールドをフォームに追加できます。現在、税務局では、請求書処理は 1 つの付加価値税額フィールド（付加価値税額 1 / 付加価値税率 1 / VAT 税コード 1）のみサポートしています。

📖 フォームとフィールドの詳細については、設定ガイド「請求書処理: フォームとフィールド」を、付加価値税関連フィールドの詳細については、「VAT Fact Sheet」をご参照ください。

© 2004–2019 SAP Concur All rights reserved.

税額処理の管理

特定の場所、または会社や国での税額の処理方法を管理しやすくするために、管理者は [支払申請ヘッダー] または [支払申請行項目の詳細] フォームに付加価値税関連のフィールドを追加し、[フォームとフィールド] ツールを使用して「請求書詳細または明細で税を指定」機能を有効にできます。この機能を使用すると、請求書上の付加価値税を管理および適用したり、それぞれの品目間で付加価値税の情報が異なる場合に、その情報を変更したりすることができます。請求書の [支払申請ヘッダー] フォームに表示するには、管理者はヘッダーおよび行項目レベルで少なくとも 1 つの付加価値税関連のフィールドを追加して、「請求書詳細または明細で税を指定」機能を表示する必要があります。

NOTE: 管理者がヘッダー レベルまたは明細レベルで付加価値税関連のフィールドを 1 つしか選択していない場合、「請求書詳細または明細で税を指定」機能は表示されません。

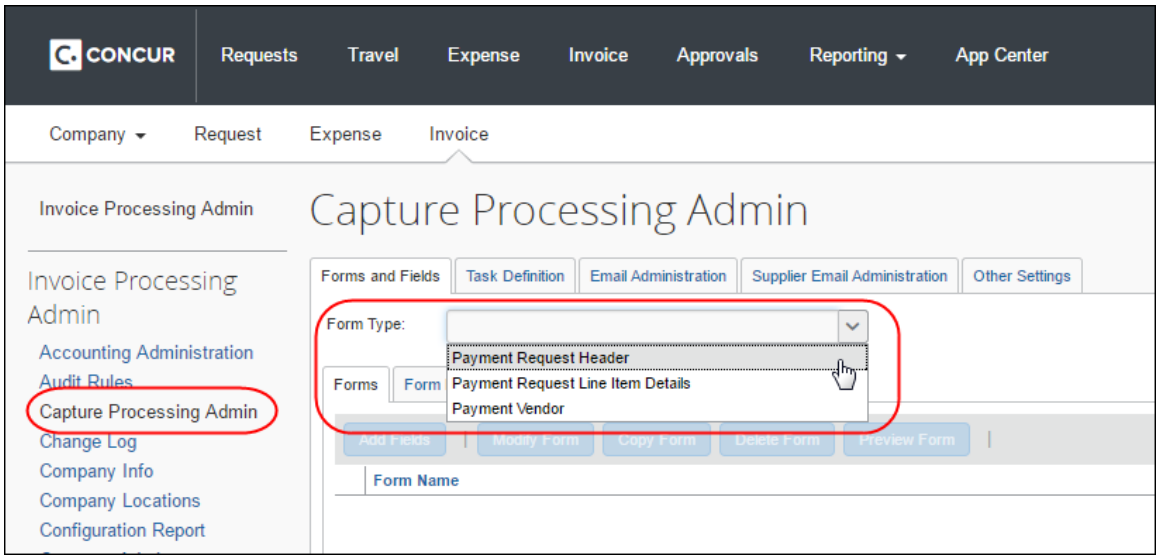
読み込み処理のための付加価値税の設定と計算

読み込み処理では、付加価値税関連フィールドは **[読み込み処理] > [フォームとフィールド]** タブのオプションを使用してフォームに追加されます。ただし、読み込み処理と請求書処理では、付加価値税の計算方法を指定する方法が異なります。請求書処理では「請求書詳細または明細で税を指定」機能を使用できますが、読み込み処理では付加価値税関連のフィールドの配置に基づいて付加価値税を計算する方法を指定します。

付加価値税の計算はフォームに依存する

読み込み処理では、付加価値税の計算はフォーム上のフィールドの配置によって異なります。**[管理] > [請求書処理] > [読み込み処理]** ツールを使用して、ヘッダー フォームまたは行項目フォームのいずれかでフィールドをフォームに追加します。

© 2004–2019 SAP Concur All rights reserved.



付加価値税関連のフィールドが追加されると、次のように場所に基づいて計算が実行されます。

- **申請総額 =** ヘッダー発送先 + ヘッダー税（または行の税）+ (ヘッダー付加価値税総計 (存在する場合、ゼロ以外の値がある場合)) + 行項目の総額

  - または -

  行項目の総額 (存在する場合、ゼロ以外の値)

- **残金 =** 請求書の金額 - (ヘッダー発送先 + ヘッダー税（または行の税）+ (ヘッダー付加価値税総計 (存在する場合、ゼロ以外の値がある場合)) - 行項目の総額

  - または -

  行項目の総額 (存在する場合、ゼロ以外の値)

付加価値税の機能を使用する際は次の点にご注意ください。

- ヘッダーと行項目の両方の付加価値税関連フィールドにゼロ以外の値がある場合、行項目の付加価値税の位置が優先され、計算に考慮されます（その場合、ヘッダーの付加価値税の値は無視されます）。
- **[残金]** フィールドにツールチップが追加されました。これにより、計算の詳細とその計算に含まれる各フィールドの値を提供します。

© 2004–2019 SAP Concur All rights reserved.

監査ルール

管理者は、ヘッダー レベルで監査ルールを設定するために付加価値税関連のフィールドのいずれかを使用できます。付加価値税関連のフィールドのリストについては、このガイドの「フォームとフィールド: 従業員がすべての税額を計上するようにする」セクションの表をご参照ください。

📖 監査ルールについての詳細情報は、設定ガイド「請求書処理: 監査ルール」をご参照ください。

監査証跡

税務局の変更によって付加価値税率フィールドの変更が発生した場合、そのイベントはシステムによって監査証跡に記録され、変更の発生状況を判断するためにユーザーが参照することがあります。

セクション 8:　税務局の設定

このセクションでは、税務局を有効化、アクセス、および設定する方法について説明します。

基本の処理

この機能を実装するには、使用開始の前にいくつかの準備および設定が必要です。お客様およびSAP Concur は、以下のアクションを実行して機能を設定およびアクティブ化します。

- **（お客様）フォームに付加価値税関連フィールドを追加する:** 税務局機能の設定を開始する前に、関連フォームに付加価値税関連のフィールドを追加する必要があります。
- **（Concur）税務局機能を有効化する:** SAP Concur の内部ツールで機能を有効化します。
- **（お客様）税務局を設定する:** 請求書処理で機能が利用可能になったら、以下を行います。

© 2004–2019 SAP Concur All rights reserved.

- **税管理者ロールの割り当て:** 税管理者ロールは、[ロール管理] にあるオプションを使用して従業員に割り当てられます。これにより、このユーザーは税管理ツールにアクセスできます。
- **新しい税務局を追加する:** 税管理者は、会社が付加価値税を追跡する各税務局（通常は国）を定義します。各税務局に対して、管理者は、**[管理] > [請求書処理] > [税管理] > [税務局]** タブで、場所、税率タイプ（標準、減額など）、計算方法（既定ではパーセント）、税率、および発効日を定義します。
- **（オプション）新しい経費タイプ グループを税務局に追加する:** 税管理者は、**[管理] > [請求書処理] > [税管理] > [経費タイプ グループ]** タブで、同じ税および還付プロパティを共有する経費タイプのグループに税および還付プロパティを設定します。

NOTE: すべての経費タイプが付加価値税や還付申請に使用できるわけではありません。

- **（オプション）新しい支払先グループを税務局に追加する:** 税管理者は、**[管理] > [請求書処理] > [税管理] > [支払先グループ]** タブで、同じ税および還付プロパティを共有する支払先のグループに税および還付プロパティを設定します。
- **（オプション）定義済みの税コードを設定する:** 管理者はユーザーの税コードを事前定義できます。

ステップ 1: フォームに付加価値税関連のフィールドを追加する

ユーザーが付加価値税を操作および管理できるように、管理者はフォームに付加価値税関連のフィールドを追加する必要があります。

NOTE: 現在、税務局では、請求書処理は 1 つの付加価値税額フィールド（付加価値税額 1 / 付加価値税率 1 / VAT 税コード 1）のみサポートしています。

付加価値税関連のフィールドをフォームに追加するには :

1. **[管理]** > **[請求書処理]** に進みます。

© 2004–2019 SAP Concur All rights reserved.

2. **[フォームとフィールド]** をクリックします（左側メニュー）。

3. [フォーム タイプ] リストで、付加価値税関連のフィールドを追加するフォームの種類を選択します。

4. **[フォーム]** タブをクリックします。**[フォームへのフィールドの追加]** ウィンドウが表示されます。

5. 追加する付加価値税関連フィールドを選択して、**[フィールドの追加]** をクリックします。

📖 フォームとフィールドについての詳細情報は、設定ガイド「請求書処理: フォームとフィールド」をご参照ください。

ステップ 2: 税管理者ロールを割り当てる

SAP Concur が「税管理」機能を有効にすると、「請求書処理の税管理者」ロールが使用可能になります。この役割を割り当てると、ユーザーは税務局を参照して作業できるようになります。

▶ **請求書処理の税管理者ロールを割り当てるには：**

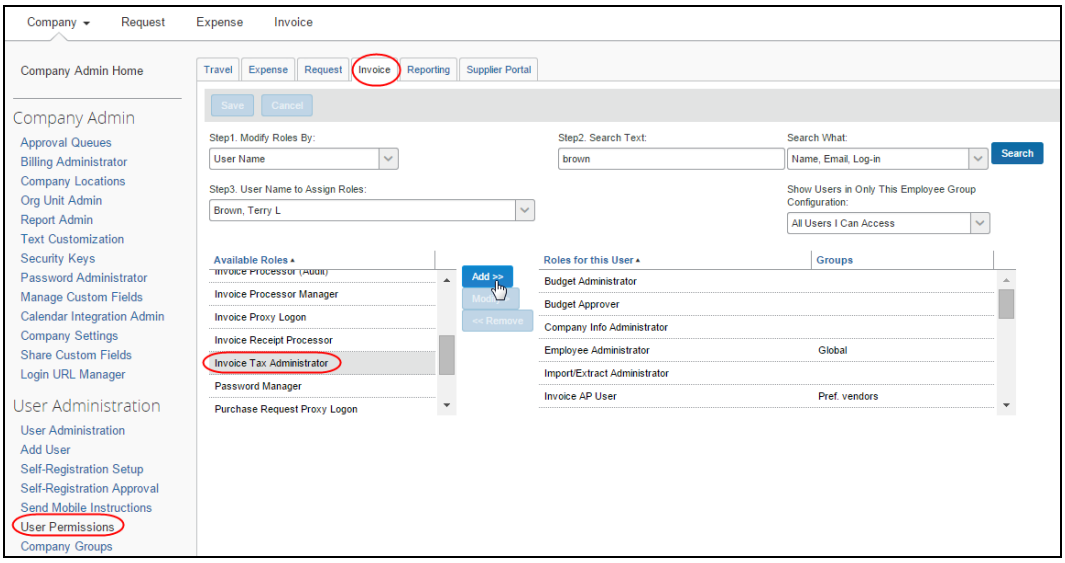
1. **[管理]** > **[会社]** > **[組織管理]** をクリックします。

2. **[ロール管理]** をクリックして、**[請求書処理]** タブをクリックします。

3. ロールを割り当てるユーザーの名前を入力して、[検索] をクリックします。

4. **[付与できるロール]** リストで [請求書処理の税管理者] を選択し、**[追加]** をクリックします。

© 2004–2019 SAP Concur All rights reserved.



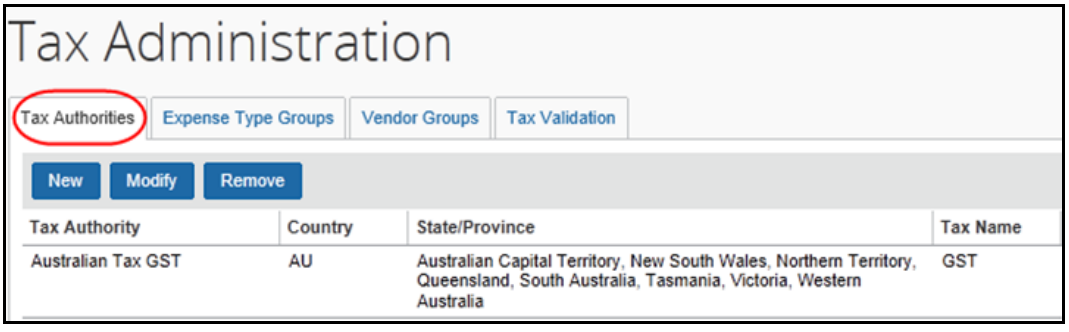
5. **[保存]** をクリックします。

ステップ 3: 税務局にアクセスする

管理者は、税務局機能にアクセスするために税管理ツールを使用する必要があります。

[税管理] ページにアクセスするには:

1. **[管理]** > **[請求書処理]** に進みます。
2. 左側メニューの **[税管理]** をクリックします。**[税管理]** ページが表示されます。
3. **[税務局]** タブをクリックします。



既存の税務局には次の情報が表示されています。

© 2004–2019 SAP Concur All rights reserved.

列	説明
税務局	会社が定義する税務局の名前（通常は国名）です。
国	税務局に関連する国です。 **注意:** 税務局と国は、ほとんどの場合同じです。
都道府県や州	税務局に関連する都道府県や州です。税が国全体に適用されている場合は、都道府県や州は指定されません。 **注意:** この列は、ほとんどの場合空白です。
税名	会社によって定義された税務局の名前です。一般的な税名の例は、GST、MwST、および VAT です。

ステップ 4: 新しい税務局を追加する

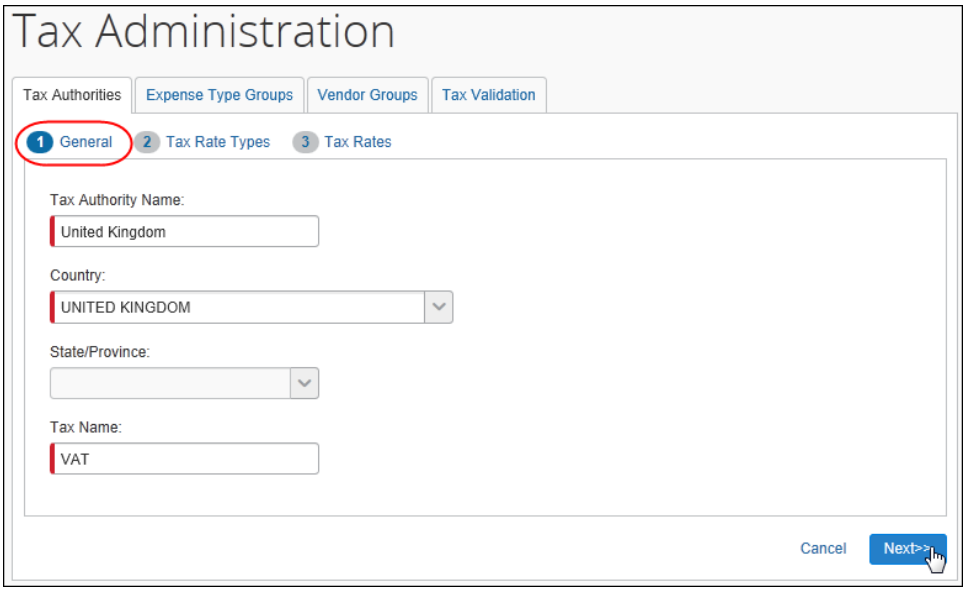
新しい税務局の追加プロセスには、次の 3 つのステップがあります。

1. **全般設定の定義:** ウィザードの 1 **[全般]** ステップを完了する
2. **税率タイプの定義:** ウィザードの 2 **[税率タイプ]** ステップを完了する
3. **税率の定義:** ウィザードの 3 **[税率]** ステップを完了する

© 2004–2019 SAP Concur All rights reserved.

1 [全般] ステップを完了するには:

1. **[税務局]** ページで、**[新規]** をクリックします。 1 **[全般]** ステップが表示されます。



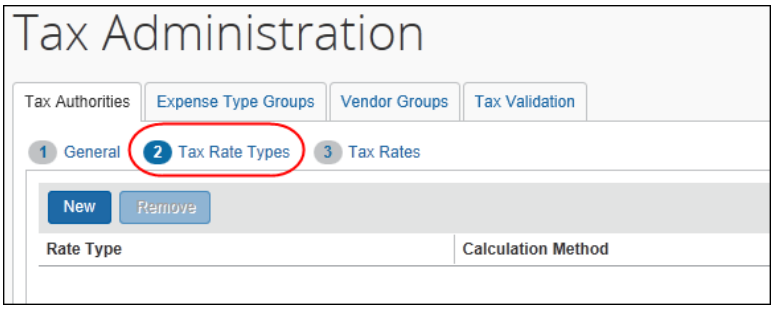
2. 適切なフィールドを入力します。

フィールド	説明 / 操作
税務局名	税務局の一意の名前（一般的には国名）を入力します。
国	関連する国を選択します。
都道府県や州	関連する都道府県や州をリストから選択します。 税務局が国全体に適用される場合は、都道府県や州を選択しないでください。このアクションにより、指定された国のすべてのエンティティに属性を適用します。
税名	最大 5 文字で税名を入力します。 **注意:** 税名は、請求書処理ユーザー インターフェースで請求書処理ユーザーと処理者に表示される名前です。会社は、ここで入力された名前がユーザーにとってなじみのある語句であることを確認する必要があります。

© 2004–2019 SAP Concur All rights reserved.

NOTE: 管理者が **[税務局]** タブで **[国]** および **[都道府県]** を選択すると、請求書処理は [管理] の **[会社の所在地]** ページから発送先情報を引き出して、経費の場所または支払先が商品またはサービスを発送する場所を確認します。請求書の発行元と従業員の居住国がシステムによって比較され、取引が国内か海外かを判断し、その情報によって該当する税務局と税率を決定します。

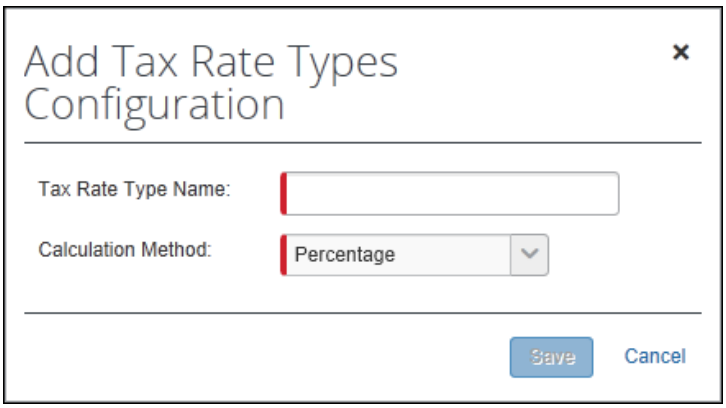
3. **[次へ]** をクリックします。 2 **[税率タイプ]** ステップが表示されます。



2 [税率タイプ] ステップを完了するには:

税率タイプは、システム内および SAP Concur のビジネス インテリジェンス ツールで生成されたすべての申請で参照するための税率の名称を定義します。これらの名前は、税務局から公開されているものと一致していることが推奨されます（ただし、必須ではありません）。

1. 2 **[税率タイプ]** ステップで **[新規]** をクリックします。 **[税率タイプ構成の追加]** ウィンドウが表示されます。



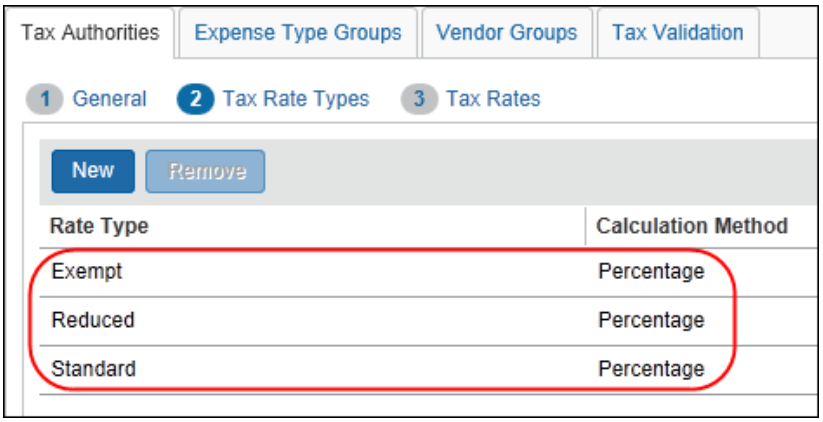
© 2004–2019 SAP Concur All rights reserved.

2. 適切なフィールドを入力します。

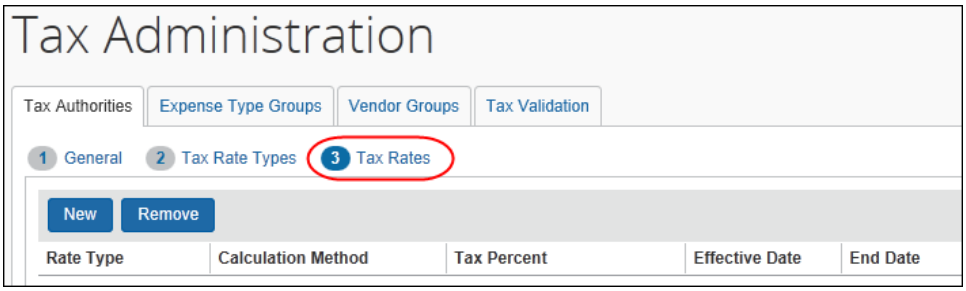
フィールド	説明
税率タイプ名	税率の名前（「標準」や「減額」など）を入力します。 **注意:** これらの名前は、税務局から公開されているものと一致していることが推奨されます（ただし、必須ではありません）。
算出方法	[%] を選択します。これは既定の選択です。

3. **[保存]** をクリックします。

4. 必要な数の税率タイプを追加します。



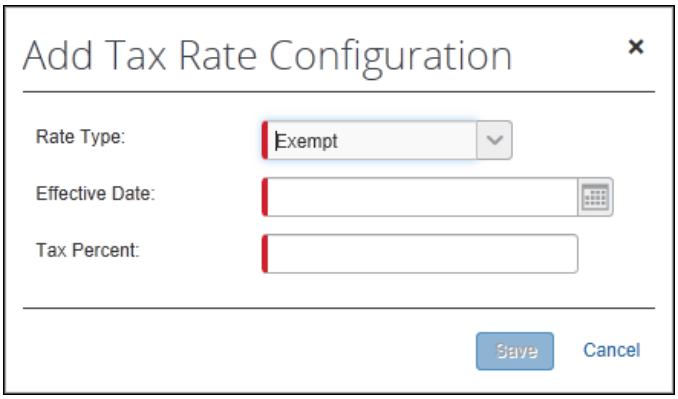
5. 設定したら、**[次へ]** をクリックします。 3 **[税率]** ステップが表示されます。



3 [税率] ステップを完了するには:

1. 3 **[税率]** ステップで **[新規]** をクリックします。 **[税率構成の追加]** ウィンドウが表示されます。

© 2004–2019 SAP Concur All rights reserved.

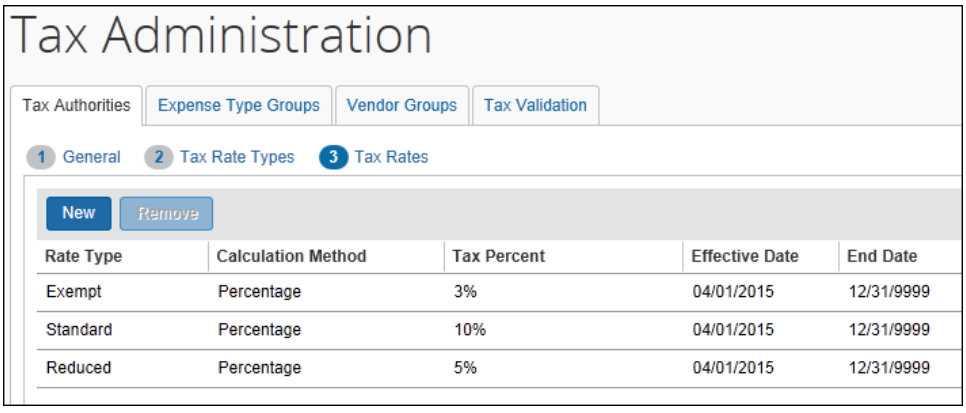


2. 適切なフィールドを入力します。

フィールド	説明
税率タイプ	税率タイプを選択します。 タイプを選択すると、**[税の %]** フィールドが表示されます。
発効日	税率の開始日を入力します。
税の %	このフィールドは既定で表示され、% 計算方法に基づいています。ここに % 値を入力します。

3. **[保存]** をクリックします。

4. 必要な数のレートを追加します。



© 2004–2019 SAP Concur All rights reserved.

5. **[完了]** をクリックします。**[税務局]** ページに新しい税務局が表示されます。

ステップ 5: （オプション）新しい経費タイプ グループを税務局に追加する

新しい経費タイプ グループの追加プロセスには、次の 3 つのステップがあります。

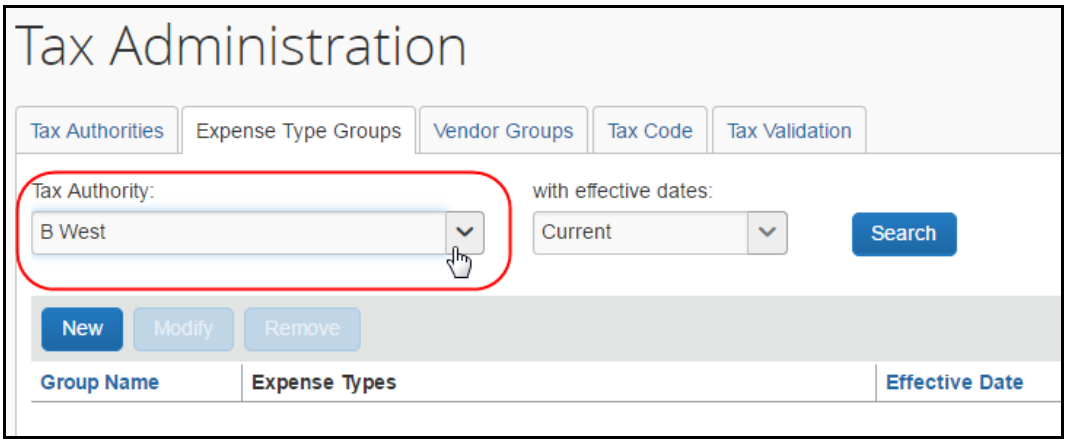
1. **グループ設定の定義:** ウィザードの 1 **[グループ名]** ステップを完了する
2. **影響を受ける経費タイプの選択:** ウィザードの 2 **[経費タイプ]** ステップを完了する
3. **税率の定義:** ウィザードの 3 **[税率]** ステップを完了する

NOTE: 経費タイプ グループまたは支払先グループを設定し、付加価値税計算モードを定義する場合は、一貫性があるかどうかを確認してください。たとえば、経費タイプ グループ設定で行項目を選択した場合、付加価値税計算モードとして行項目も選択する必要があります。

---

1 [グループ名] ステップを完了するには:

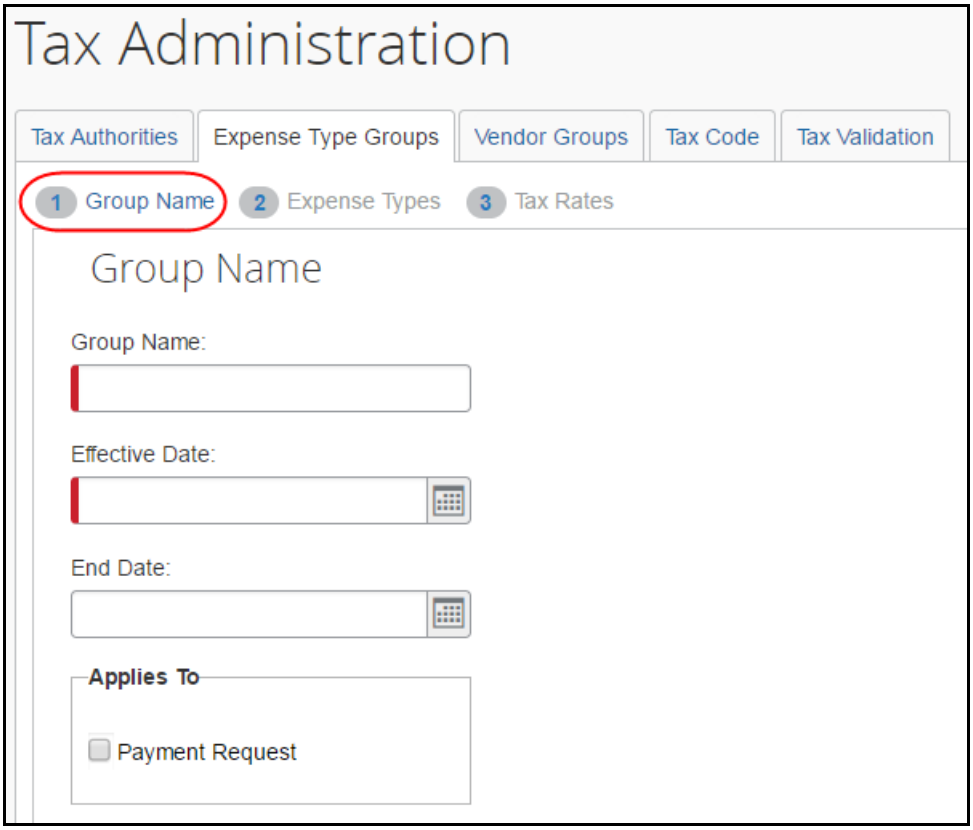
1. **[経費タイプ グループ]** タブで、**[税務局]** リストから選択します。



2. （オプション）**発行日付きの**リストから、目的の日付範囲（現在アクティブのものすべて、またはすべての税務局）を選択してから、**[検索]** クリックします。選択した税務局の既存のグループがある場合は表示されます。

© 2004–2019 SAP Concur All rights reserved.

3. **[新規]** をクリックします。 1 **[グループ名]** ステップが表示されます。



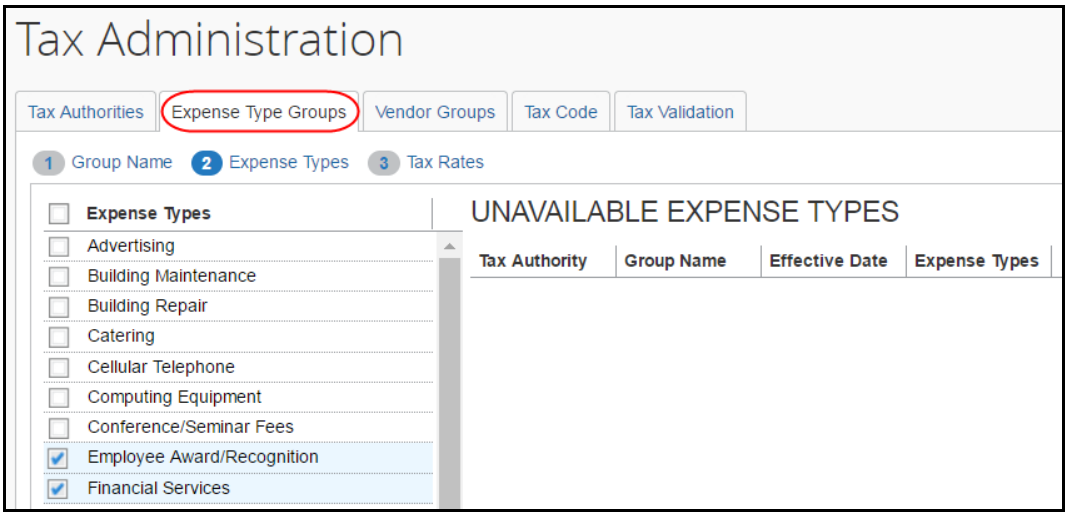
4. グループに対して必要な値を入力します。

フィールド	説明 / 操作
グループ名	グループの表示名を入力します。
発効日	グループの発効日を選択します。
終了日	（オプション）グループの発効日範囲の終了日を選択します。 一般的に、このグループの使用を終了する時が来ると、この日付がシステムによって設定されます。特定の日付で強制的に終了することがない限り、空のままにします。

© 2004–2019 SAP Concur All rights reserved.

フィールド	説明 / 操作
適用先	経費タイプ グループの付加価値税を計算する支払申請のドキュメントタイプを選択します。 **[適用先]** 設定は、**[経費タイプ グループ]** ページにも列として表示されます。
税コード	税コードを関連する経費タイプのセットに関連付けることができます。この情報は財務システムに反映され、会社の税処理を容易にします。 税コードは最大 20 文字まで使用できます。**[税コード]** は任意のフィールドで、ユーザーに対しては読取専用になります。 **注意:** 付加価値税の税コードは請求書にのみ適用されます。
付加価値税の計算を無効化	英国など、支払先が付加価値税額をすでに提供している国では、付加価値税の計算を行う必要がない場合があります。この場合、チェックボックスをオンにして付加価値税の計算を無効化します。 **注意:** 請求書の付加価値税の計算のみ無効化できます。

5. **[次へ]** をクリックします。 2 **[経費タイプ]** ステップが表示されます。



© 2004–2019 SAP Concur All rights reserved.

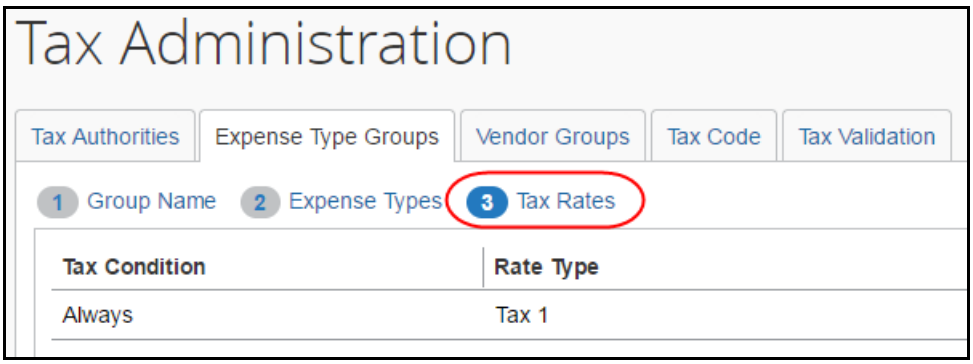
2 [経費タイプ] ステップを完了するには:

1. 2 **[経費タイプ]** ステップで、**[経費タイプ]** 列から必要な経費タイプを選択します。

NOTE: 税務局に対してすでに使用されている経費タイプが、該当するグループ名とともに **[選択できない経費タイプ]** ペインに表示されます。

---

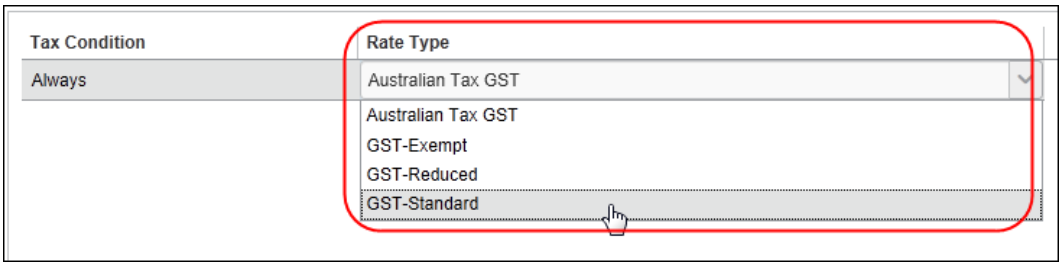
2. **[次へ]** をクリックします。 3 **[税率] ステップ**が表示されます。



3 [税率] ステップを完了するには:

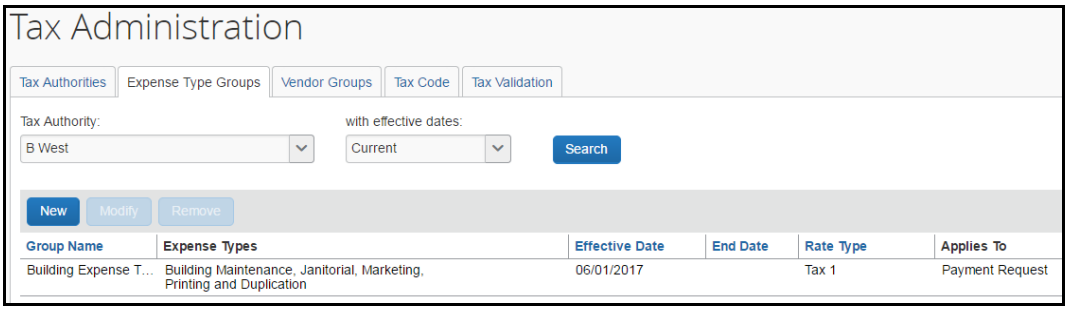
3 **[税率]** ステップには、[常に] という既定の税条件が表示されます。これは、この税率が常に適用されることを意味します。

1. 税率タイプを変更するには、**[税率タイプ]** 列のフィールドをクリックし、選択した税務局で利用可能な税率タイプが表示されているリストから選択します。



2. **[完了]** をクリックしてウィザードを終了します。作成した経費タイプ グループがリストに表示されます。

© 2004–2019 SAP Concur All rights reserved.



ステップ 6: （オプション）新しい支払先グループを税務局に追加する

新しい支払先グループの追加プロセスには、次の 3 つのステップがあります。

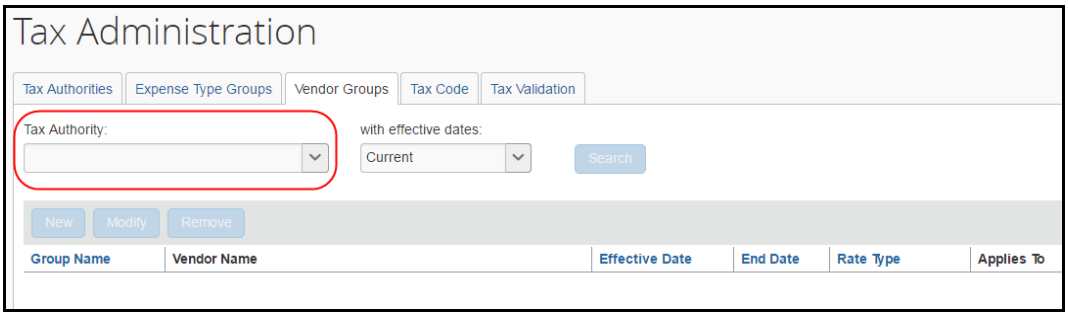
1. **グループ設定の定義:** ウィザードの 1 **[グループ名]** ステップを完了する
2. **影響を受ける支払先の選択:** ウィザードの 2 **[支払先名]** ステップを完了する
3. **税率の定義:** ウィザードの 3 **[税率]** ステップを完了する

NOTE: 経費タイプ グループまたは支払先グループを設定し、付加価値税計算モードを定義する場合は、一貫性があるかどうかを確認してください。たとえば、経費タイプ グループ設定で行項目を選択した場合、付加価値税計算モードとして行項目も選択する必要があります。

---

1 [グループ名] ステップを完了するには:

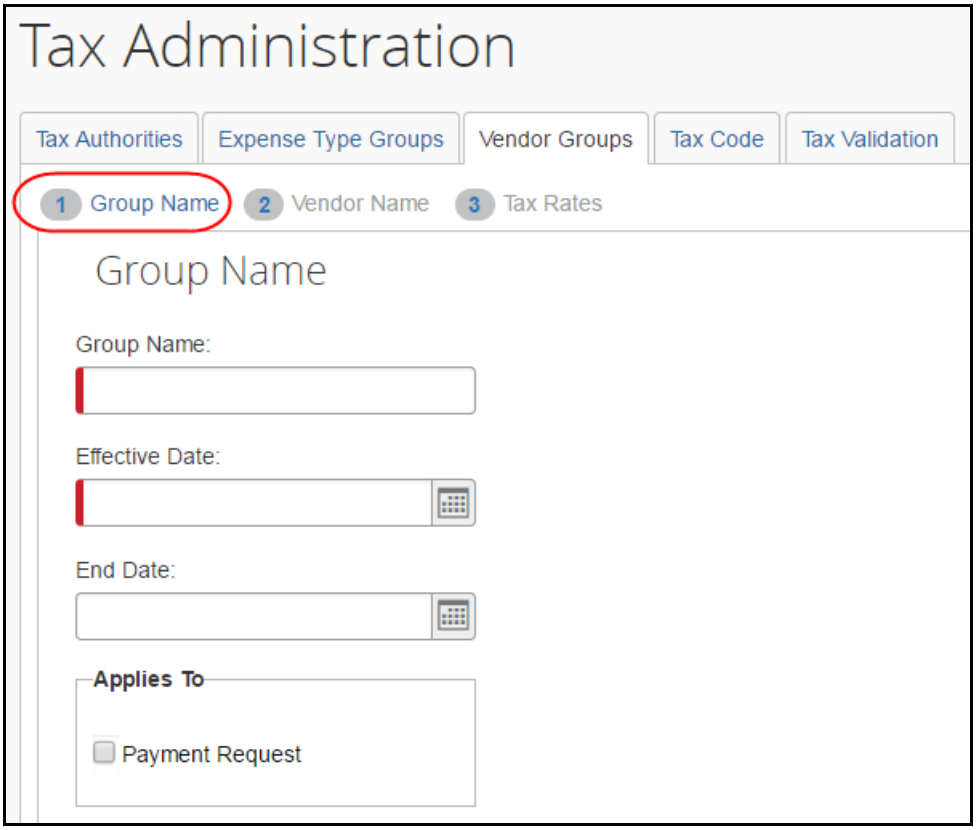
1. **[支払先グループ]** タブで、**[税務局]** リストから選択します。



© 2004–2019 SAP Concur All rights reserved.

2. （オプション）**発行日付きの**リストから、目的の日付範囲（現在アクティブのものすべて、またはすべての税務局）を選択してから、**[検索]** クリックします。選択した税務局の既存のグループがある場合は表示されます。

3. **[新規]** をクリックします。 1 **[グループ名]** ステップが表示されます。



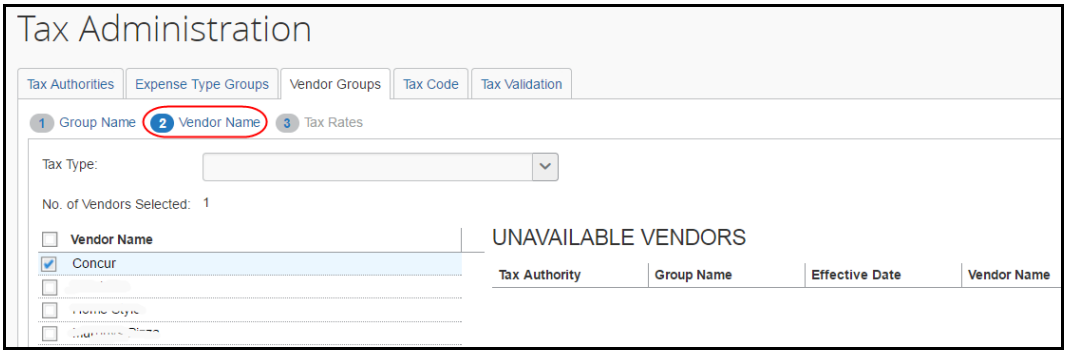
4. グループに対して必要な値を入力します。

フィールド	説明 / 操作
グループ名	グループの表示名を入力します。
発効日	グループの発効日を選択します。
終了日	（オプション）グループの発効日範囲の終了日を選択します。 一般的に、このグループの使用を中止するときになると、システムによってこの日付が設定されます。特定の日付で強制的に終了しない限り、空のままにします。

© 2004–2019 SAP Concur All rights reserved.

フィールド	説明 / 操作
適用先	支払先グループの付加価値税を計算する支払申請のドキュメント タイプを選択します。 **[適用先]** 設定は、[経費タイプ グループ] ページにも列として表示されます。
税コード	税コードを関連する支払先のセットに関連付けることができます。この情報は財務システムに反映され、会社の税処理を容易にします。 税コードは最大 20 文字まで使用できます。**[税コード]** は任意のフィールドで、ユーザーに対しては読取専用になります。 **注意:** 付加価値税の税コードは請求書にのみ適用されます。
付加価値税の計算を無効化	英国など、支払先が付加価値税額をすでに提供している国では、付加価値税の計算を行う必要がない場合があります。この場合、チェックボックスをオンにして付加価値税の計算を無効化します。 **注意:** 請求書の付加価値税の計算のみ無効化できます。

5. **[次へ]** をクリックします。 2 **[支払先名]** ステップが表示されます。



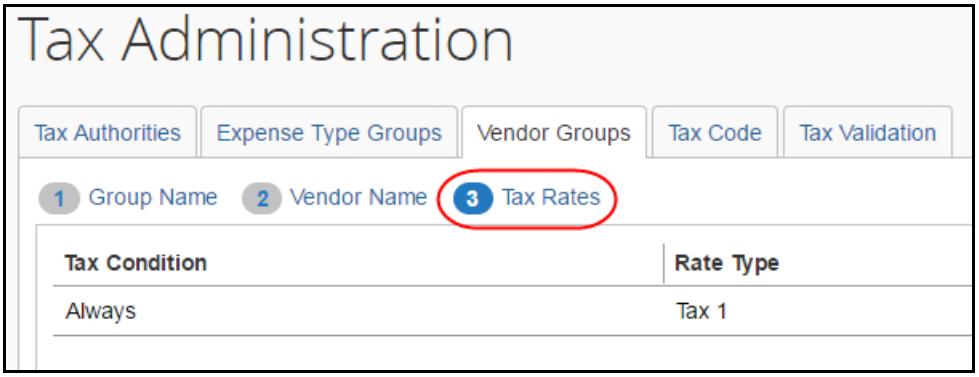
2 [支払先名] ステップを完了するには:

1. （オプション）2 **[支払先名]** ステップで、このオプションのステップの **[税金タイプ]** リストから、税の種類（国際、国内、課税対象など）を選択します。

NOTE: 税務局に対してすでに使用されている支払先が、該当するグループ名とともに **[利用できない支払先]** ペインに表示されます。

© 2004–2019 SAP Concur All rights reserved.

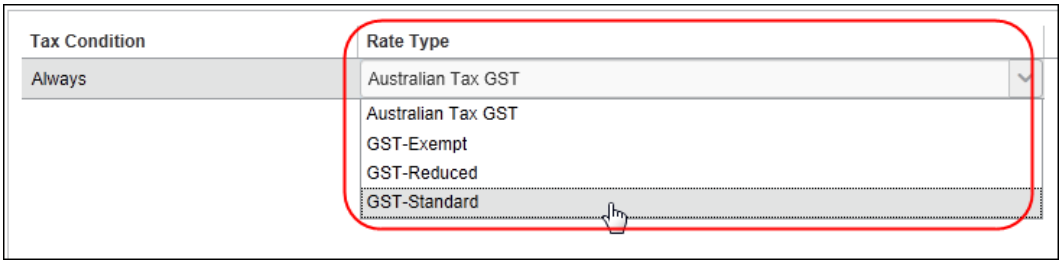
2. **[次へ]** をクリックします。 3 **[税率] ステップ**が表示されます。



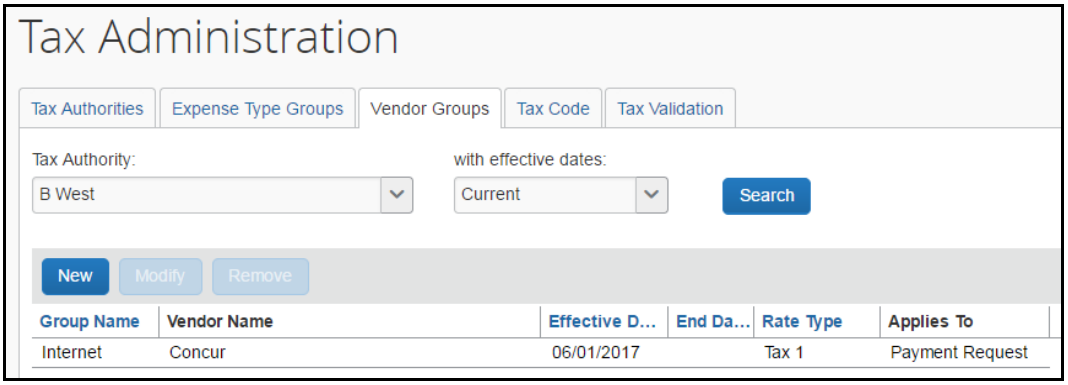
3 [税率] ステップを完了するには:

3 **[税率]** ステップ は、この税率が必ず適用されることを意味する 「常に」 の既定税条件を示します。

1. 税率タイプを変更するには、**[税率タイプ]** 列のフィールドをクリックし、選択した税務局で利用可能な税率タイプが表示されているリストから選択します。



2. **[完了]** をクリックしてウィザードを終了します。作成した支払先グループがリストに表示されます。



© 2004–2019 SAP Concur All rights reserved.

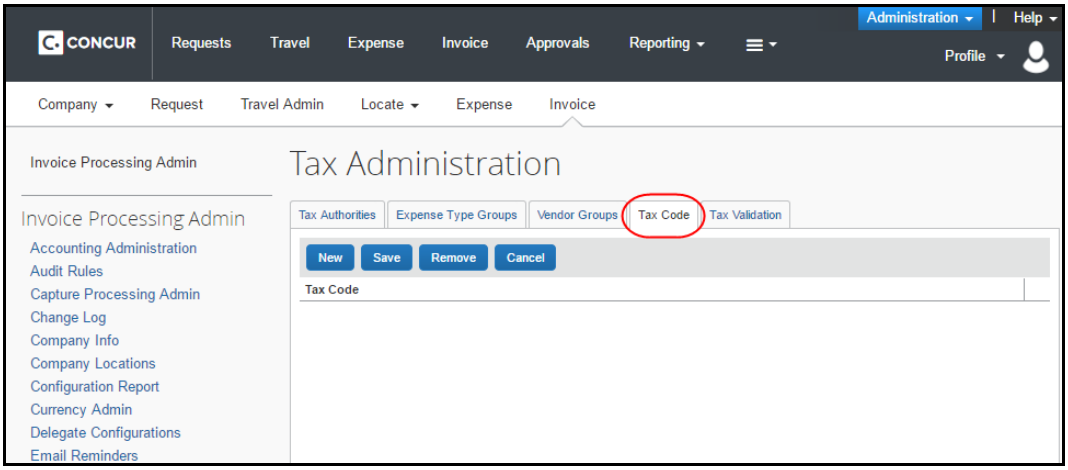
ステップ 7:（オプション）定義済の税コードを設定する

管理者は税コードを事前定義できます。そうすることで、エンド ユーザーに対しては付加価値税コードの入力が簡略化されると同時に、請求書および税務局においては付加価値税コードを取り扱う場合に一貫性が保たれます。

NOTE: 管理者が税コードを事前に定義していない場合、ユーザーには税コードが読取専用フィールドに表示され、リストには表示されません。

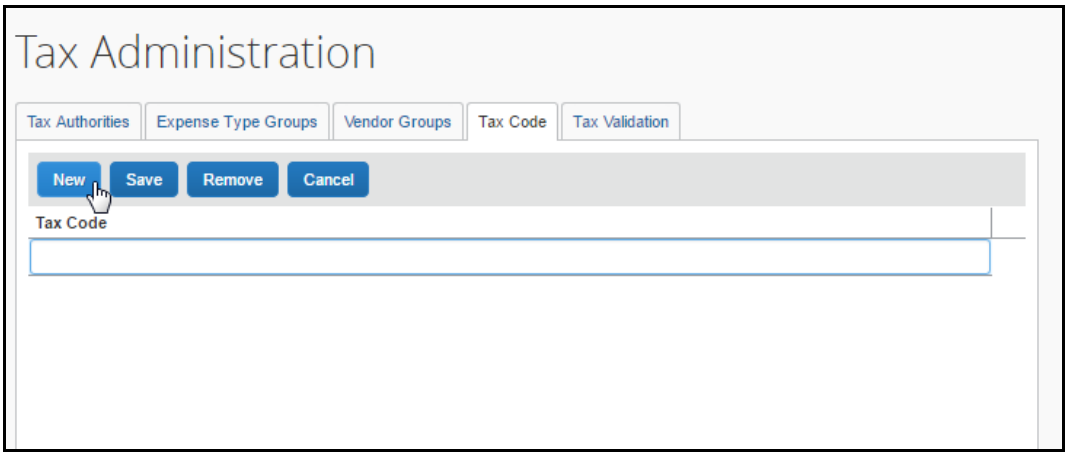
定義済の税コードを設定するには:

1. **[管理]** > **[請求書処理]** > **[税管理]**（左側メニュー）の順にクリックします。
2. **[税コード]** タブをクリックします。



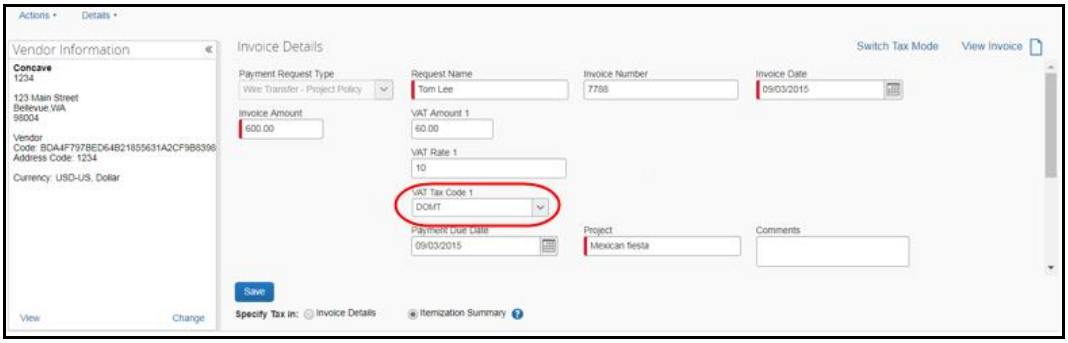
3. **[新規]** をクリックします。

© 2004–2019 SAP Concur All rights reserved.



4. コード名を入力して **[保存]** をクリックします。

   請求書の **[請求書の詳細]** および **[明細]** セクションのリストとして **[VAT 税コード 1]** フィールドがユーザーに表示されます。



5. **[VAT 税コード 1]** フィールドを編集するには、管理者は [フォームとフィールド] ツールでこれらのフィールドの変更権限がユーザーに与えられていることを確認する必要があります。

セクション 9:　インポートと抽出

インポート

付加価値税関連のフィールドはインポートして使用できます。

© 2004–2019 SAP Concur All rights reserved.

抽出

[支払勘定抽出] および [従業員が申請した支払先抽出] には、インポートと同じフィールドがあります。これらのフィールドはすべてオプションです。

ヘッダー レベルおよび行項目レベルの付加価値税額を [支払勘定抽出] に含める機能により、SAP Concur は [支払勘定抽出] の **[税詳細]** リストに新しいオプション [別の行] を追加しました。このオプションは、請求書の行に税を含めるのではなく、新しい税の行に税情報を提供します。そのため、税情報がある行と、税情報がない行があることになり、したがって、1 行おきに別々の抽出に行きます。

NOTE: リリース後に SAP Concur が抽出を登録し、その情報が仕様ガイドに追加されます。

📖 さらに詳しい情報は、次のドキュメントをご参照ください。

- ユーザー ガイド「請求書処理: 支払先のインポート」
- インポート/抽出の仕様「請求書処理: 承認済みの支払先インポート バージョン 3」
- インポート/抽出の仕様「請求書処理: Payment Request Accounting Extract V2 (Current) 」
- インポート/抽出の仕様「請求書処理: Standard Employee Requested Vendor Extract」
- インポート/抽出の仕様「請求書処理: Payment Request Import V2」

セクション 10:　分析レポート

Analysis/Intelligence をお使いのお客様は、付加価値税関連のフィールドを利用可能です。

📖 詳しくは、Analysis/Intelligence のユーザー ガイドをお読みください。

© 2004–2019 SAP Concur All rights reserved.

セクション 11:　付録 A - 税額計算

付加価値税は経費が保存された時点で計算されます。付加価値税は、従業員、承認者、または処理者が、請求日、請求金額、ポリシー、支払先、システム税、発送、付加価値税額 1、所在地、経費タイプ、行の数量、または行項目の単価を編集したときに再計算されます。

税額のソース（従業員が請求書を保存するときにシステムによって計算される）、または税額が後方処理者によって調整されたかどうかを追跡します。再計算は実行されず、処理者が編集した内容が税額に上書きされることはありません。

請求書処理は最初に正味金額を計算し、次に付加価値税率を適用して正しい付加価値税を受け取ります。

税がヘッダーに設定されている場合、請求書処理は次のように付加価値税を計算します。

正味額 = 行項目の金額 / 1 + 税率

付加価値税 = 正味額 * 付加価値税率

税が行項目に設定されている場合、請求書処理は次のように付加価値税を計算します。

付加価値税率 * 行項目の金額 = 行項目の付加価値税額

例：

以下の請求書情報があると仮定します。

請求書の金額 = 100

発送 = 10

支払先の付加価値税率 = 10 %

計算は次のようになります。

100-10 = 90/1.10 = 81.81 (正味額)

81.81 * .10 = 8.18 (付加価値税 1)

最終更新日: 2019 年 4 月 13 日

© 2004–2019 SAP Concur All rights reserved.

NOTE: この更新はヘッダー レベル（支払先）の税務局にのみ適用されます。行項目付加価値税の税務局は、行項目行の合計に適用されているパーセンテージをそのまま使用します。

正味額が得られれば、個別の税それぞれを計算できます。ほとんどの国では、税は国レベルでのみ徴収されるため、これは本当にシンプルな計算となります。そのほかの国では、さまざまな税のレベルで正しい金額の計算が求められます。

📖 付加価値税についてのさらに詳しい情報は、「VAT in Concur Invoice Fact Sheet」をご覧ください。

英国の例（付加価値税が単一レベルであるすべての国に適用）

売上の観点からは、以下のようになります。

正味経費額 = 125.32（税込の売上総計）

付加価値税率 = 17.5%

付加価値税 = 125.32 * 0.175 = 21.931、丸め後の値 21.93

総額 = 正味額 + 税の合計

総額 = 125.32 + (21.93)

総額 = 147.25

総額を使用して、取引がアプリケーションに入力されます。付加価値税の税率は、英国の税率設定の一部として、すでにシステム内に保存されています。

よって、アプリケーションでは以下のようになります。

総額経費 = 147.25

付加価値税率 = 17.5%

正味額 = 総額 /（1 + 税率の合計）

正味額 = 147.25 / (1 + 0.175)

正味額 = 147.25 / 1.175

© 2004–2019 SAP Concur All rights reserved.

正味額 = 125.31914、丸め後の値 125.32

最終更新日: 2019 年 4 月 13 日

© 2004–2019 SAP Concur All rights reserved.